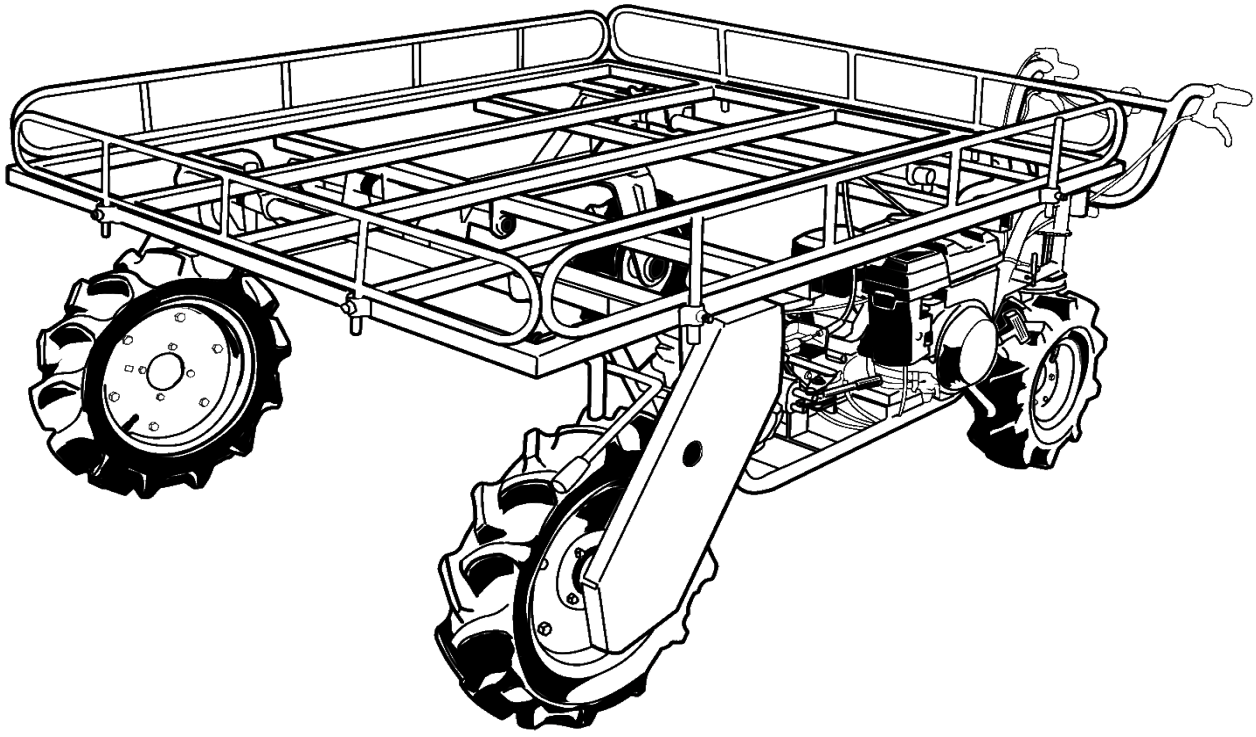
ヘルパー高床式運搬車

取扱説明書

KYU-A-1



当製品を安全に、正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

関東農機株式会社

はじめに

このたびは本製品をお買上げいただきましてありがとうございました。
この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検及び手入れについて説明しています。
ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買上げの製品が優れた性能を発揮し、かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。
また、お読みになった後必ず大切に保管し、分からないことがあった時には取出してお読みください。なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

⚠ 安 全 第 一

本書に記載した注意事項や機械に張られた⚠の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

■注意表示について
本取り扱い説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように説明しています。

⚠ **危険：**注意事項を守らないと死亡または重傷を負うことになるものを表示します。
⚠ **警告：**注意事項を守らないと死亡または重傷を負う危険性があるものを表示します。
⚠ **注意：**注意事項を守らないとけがを負うおそれがあるものを表示します。

目次

安全に作業するために ！-1
- 本機の使用目的 ！-5
- 警告ラベルと貼り付け位置 ！-6

サービスと保証について 1

各部の名称と装置の取扱い 2

作業前の点検 8

運転のしかた
- 始動のしかた 11
- 停止のしかた 13
- 発進のしかた 13
- 車幅を変更する 14

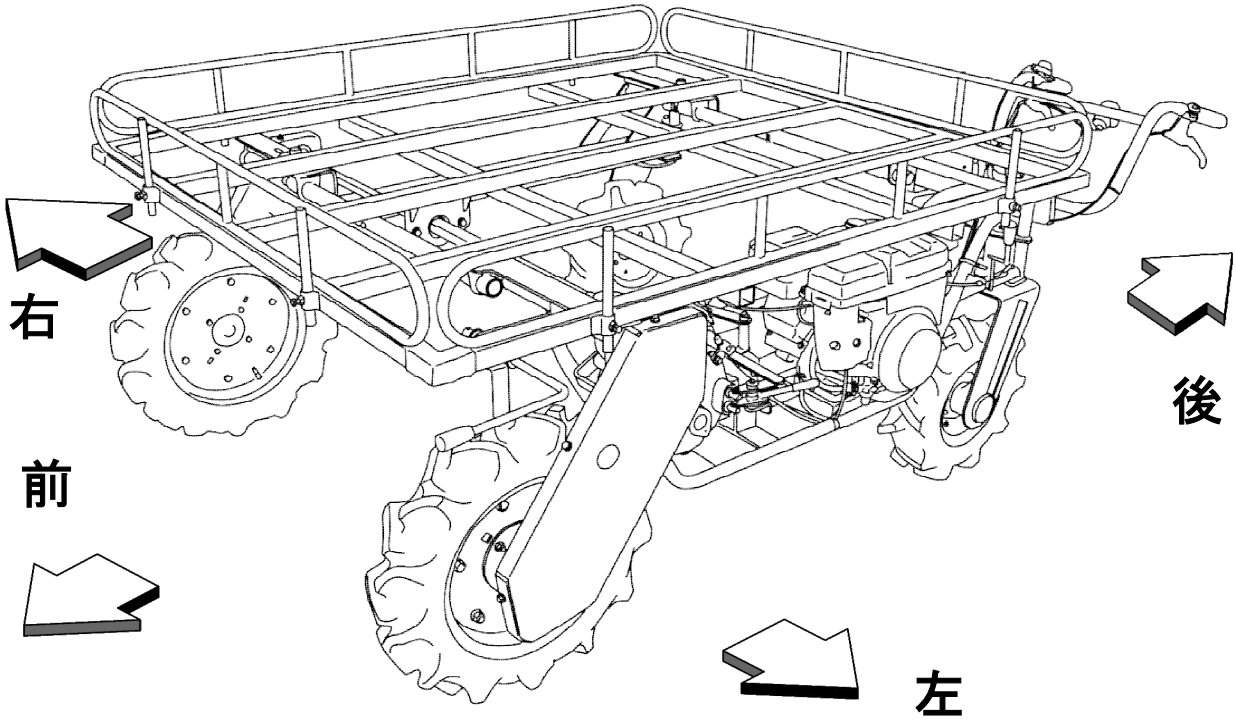
簡単な手入れと処置
- エンジンオイルの交換 15
- エアークリーナーエレメントの掃除 15
- フィルターポッドの掃除 16
- 点火プラグの清掃・調節 16
- ミッションオイルの交換 16
- Vベルトの張りの調節 17
- サイドクラッチの調節 17
- 駐車ブレーキの調節 17
- 走行チェンの張りの調節 17
- 使用後の手入れ 18
- 長期保管時の手入れ 18

付表
- 主要諸元 19
- 標準付属部品 20
- 主な消耗部品一覧 20

トラブルと処置 21

⚠ 安全に作業するために

本機をご使用になる前に、必ず「取扱説明書」をよく読み、理解した上で安全な作業をしてください。
この「取扱説明書」で使用している＜前後、左右＞などの≪用語≫は図示のように決めています。



⚠ 安全に作業するために

管理機の取扱いは正しく、ちょっとした油断がもとで、思わぬ事故を招くことがあります。安全で効率的な作業を行うために、次のことをお守りください。

⚠危険　以下の項目に該当する人は、機械を使用しないでください
1. 飲酒時や体調の悪い時、または妊娠中の人
2. 本書及びラベルの内容が理解できない人
3. 視力不足などのため表示内容が読めない人
4. 16歳未満の人
5. ハンドルを操縦する体力に自信のない人

〈守らないと〉
死亡事故や重大な傷害、機械の破損を招く恐れがあります。

⚠危険　作業に適した服装
1. はち巻・首巻・腰タオルは厳禁　　2. だぶつきのない服装
3. ヘルメットなどの防護具の着用

〈守らないと〉
機械に巻き込まれたりして重傷を負う危険がありあます。

⚠危険　他人に機械を貸すときは取扱い方法を説明する
取扱い方法を説明し、使用前に取扱い説明書を必ず読むように指導してください。

〈守らないと〉
死亡事故や重大な傷害、機械の破損を招く恐れがあります。

⚠危険　機械の改造禁止
純正部品や指定アタッチメント以外の部品を取付けないでください。
機械を改造しないでください。

〈守らないと〉
死亡事故や重大な傷害、機械の破損を招く恐れがあります。

⚠注意　点検・整備を行う
機械を使う前と後には必ず点検・整備をしてください。
定期の点検・整備は必ず受けてください。

〈守らないと〉
自己・ケガ・機械の破損を招く恐れがあります。

⚠危険　ハウス内での作業は換気を充分にする
排気ガスが充満しないように充分に換気を行ってください。

〈守らないと〉
排気ガス中毒を起こし、死亡することがあります。

⚠警告　乗用運転禁止
この運搬車は歩行型運搬車です。
荷台の上に乗って運転したり、人を乗せて運転しないでください。

〈守らないと〉
転落事故等による、傷害事故を引き起こす恐れがあります。

⚠ 安全に作業するために

⚠警告　子供を近付けない
子供には十分に注意し機体に乗せたり近付けないようにして
ください。
〈守らないと〉
傷害事故を引き起こす恐れがあります。

⚠警告　作業機を装着するときは、作業機の取扱説明書を読む
作業機を装着するときは、事前に必ず作業機の説明書をよく読んで
理解してください。
〈守らないと〉
傷害事故や機械の破損を引き起こす恐れがあります。

⚠警告　作業機の脱着は平坦な場所で行う
作業機の脱着は平坦で安定した場所で行ってください。
夜間は適切な照明をしてください。
〈守らないと〉
傷害事故や機械の破損を引き起こす恐れがあります。

⚠警告　溝、あぜ越えは、アユミ板を使用する
ほ場に入るとき、溝、あぜを渡るときや軟弱な所を通るときは幅
長さ、強度の充分にあるアユミ板を使用してください。
〈守らないと〉
転倒やスリップによる事故を引き起こす恐れがあります。

⚠注意　点検・整備は平坦な場所で行ってください
点検・整備は機械が倒れたり、動いたりしない平坦で安定した場所で
タイヤに輪止めをして行ってください。
〈守らないと〉
機械が転倒するなど、思わぬ事故を招く恐れがあります。

⚠警告　点検・整備中はエンジン停止
点検・整備・修理または掃除を行うときはエンジンを停止させて行って
ください。
〈守らないと〉
機械に巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。

⚠警告　カバー類は必ず取り付ける
点検・整備などで取り外したカバー類は必ず元通りに取付けてから作
業してください。
〈守らないと〉
機械に巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。

⚠警告　坂道の移動、積み降ろし時はキャスターを固定する
坂道の移動時や、本機の積み降ろしの際は制動が不安定にならない
う、キャスターをピンで固定してください。
〈守らないと〉
機械が転倒したり、思わぬ方向へ走ったりして傷害事故や機械の
破損を招く恐れがあります。

安全に作業するために

危険　燃料補給・注油時は火気厳禁

燃料を補給する、あるいは機械に注油する際はエンジンを停止させてください。また、くわえタバコでの作業、裸火照明の下での作業は絶対にしないこと。

〈守らないと〉

燃料に引火し火災を引き起こす恐れがあります。

警告　燃料キャップを閉め、こぼれた燃料はふき取る

燃料を補給した後は、燃料キャップを確実に閉め、こぼれた燃料をきれいに拭き取ってください。

〈守らないと〉

燃料に引火し火災を引き起こす恐れがあります。

危険　排気ガスには充分に注意する

閉め切った室内ではエンジンを始動しないでください。
エンジンは風通しの良い屋外で始動してください。やむをえず屋内で始動する場合は充分に換気してください。

〈守らないと〉

排気ガス中毒を起こし、死亡事故にいたる恐れがあります。

注意　マフラーの高温に注意

運転中及びエンジン停止直後のマフラーは高温です。
触れないでください。

〈守らないと〉

ヤケドをする恐れがあります。

警告　マフラー、エンジン周りのゴミは取り除く

マフラー、エンジン周辺にゴミ、ワラクズ、燃料が付着していないか作業前に点検し、付着している場合は取り除いてください。

〈守らないと〉

火災を引き起こす恐れがあります。

警告　坂道、アユミ板の上での変速禁止

適正な変速段を選択し、坂道やアユミ板の上では主クラッチを切ったり変速をしないでください。

〈守らないと〉

事故を引き起こす恐れがあります。

注意　エンジン始動時は周囲の安全を確認する

エンジンを始動する際は主クラッチが**「切」**、主変速が**「中立」**になっていることを確認してください。
リコイルの引き方向に人や障害物、突起物がないか確認してください。
また、周囲に人を近付けないでください。

〈守らないと〉

傷害、事故を引き起こす恐れがあります。

注意　積荷にロープを掛ける。

荷台に荷物を乗せたときは、充分な強度を持ったロープを用いて確実に固定してください。

〈守らないと〉

荷崩れを起こし、ケガをする恐れがあります。

⚠ 安全に作業するために

⚠注意　発進、作業時は以下のことに注意してください
車速の最低速で主クラッチを**「入」**はゆっくり行い、**「切」**は素早く操作できるよう習熟した上で使用してください。
小走りになるようなスピードを出したり、急発進、急旋回は行わないでください。
〈守らないと〉
事故を引き起こしたり、傷害を負う恐れがあります。

⚠警告　移動する際はロータリーを停止させる
移動するときはロータリークラッチレバーを**「切」**にしてください。
〈守らないと〉
機械に巻き込まれたりして重傷を負う危険があります。

⚠警告　運搬には天井のない車を使用する
運搬には荷台に天井のない車を使用してください。荷台の上ではエンジンを切り手で引き出ししてください。
〈守らないと〉
ハンドルと天井にはさまれたり、転落したりして傷害を負う恐れがあります。

⚠警告
積み降ろしに用いるアユミ板は機体重量に充分に耐え、滑り止めのついたものを使用し確実に固定してください。
荷台の高さが**「1」**に対しアユミ板の長さが**「4以上」**になるものを使用してください。
積み降ろしは平坦な場所で行い周囲に人や障害物がないことを確認し、最低速で上りは**「前進」**下りは**「後進」**で行い、途中で主クラッチを切ったり、変速操作を行わないでください。
〈守らないと〉
転落などの事故を引き起こす恐れがあります。

⚠注意　格納するとき
機体に保管用シートを掛ける場合は、マフラーやエンジンが充分冷えてから掛けてください。
火災予防のため、ワラ・草等可燃物のある場所での保管はしないでください。
〈守らないと〉
火災事故を引き起こす恐れがあります。

⚠注意　夜間作業の禁止
本機には夜間作業灯を装備しておりませんので夜間作業を行わないでください。
〈守らないと〉
事故を引き起こしたり、傷害を負う恐れがあります。

廃棄物の処理
廃油やゴム類、その他の有害物を廃棄または焼却するときは、購入先、又は産業廃棄物処理業者に相談して、所定の規則に従って処理してください。
〈守らないと〉
みだりに捨てたり、焼却すると法令により処罰されることがあります。

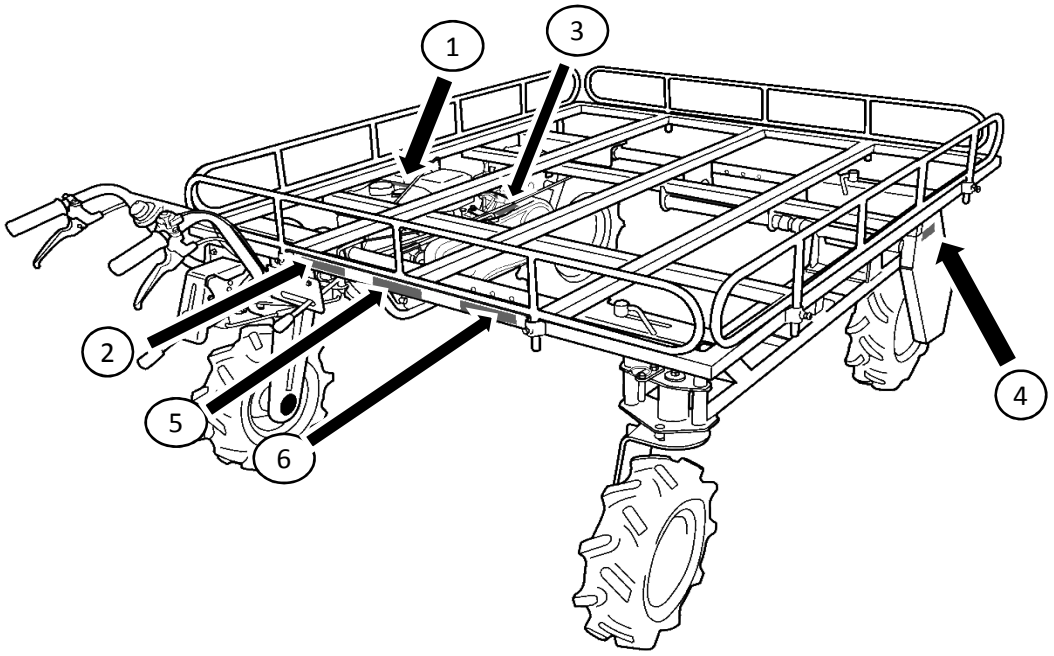
☆本製品の使用目的
本製品は農業用の運搬車です。圃場内での収穫・運搬作業にご使用ください。
使用目的以外の作業や改造は絶対にしないでください。

⚠ 安全に作業するために

警告ラベルと貼り付け位置(ラベルの絵は原寸ではありません)

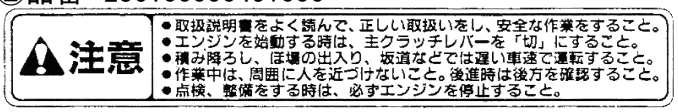
表示ラベルの手入れ

●ラベルは、いつでもきれいにして傷つけないようにしてください。
もしラベルが汚れている場合は、石鹸水で洗い、柔らかい布で拭いてください。
●高圧洗浄機で洗車すると、高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。
●破損や紛失したラベルは、製品購入先に注文し、新しいラベルに貼り替えてください。
●新しいラベルを貼る場合は、貼り付け面の汚れを完全に拭取り、乾いた後、元の位置に貼ってください。
●ラベルが貼り付けられている部品を新部品と交換するときは、ラベルも同時に交換してください。

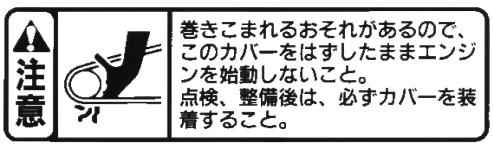


①品番　KW56256AA

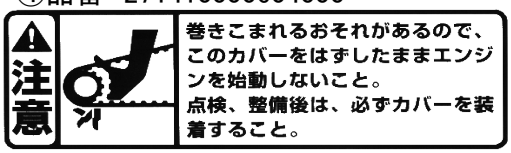
②品番　236100000451000



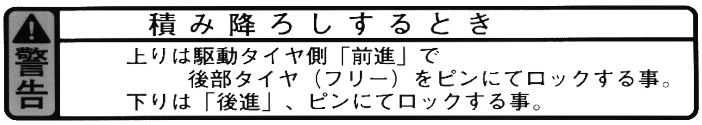
③品番　236100000452000



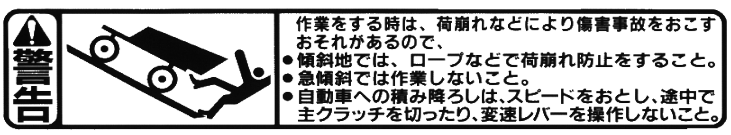
④品番　271410000604000



⑤品番　271600000602000



⑥品番　271100000855000



サービスと保証について

この製品には、保証書が添付してありますので、ご使用前によくご覧ください。

■アフターサービスについて

ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は、お買上げの販売店又は直接当社にお気軽にご相談ください。

その際　(1)型式名
(2)車台番号(製造番号)
(3)エンジン番号
(4)故障内容(できるだけ詳しく)
・どのような作業をしていましたか
・どのくらい使用しましたか
(荷物の重さ、走行距離、又は時間)

⚠警告

機械の改造はしないでください。改造すると機能に影響を及ぼすばかりか、人身事故につながる恐れもあります。
改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる使用を行った場合は、メーカー保証の対象外になりますのでご注意ください。

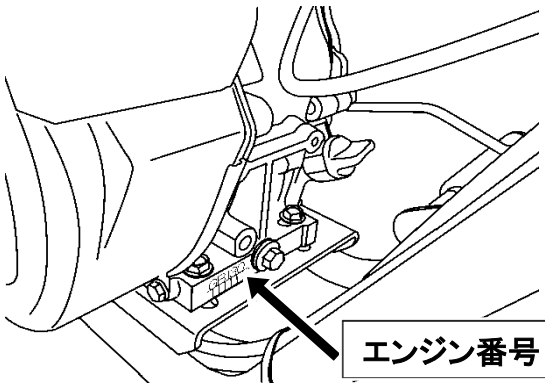
◆認定番号

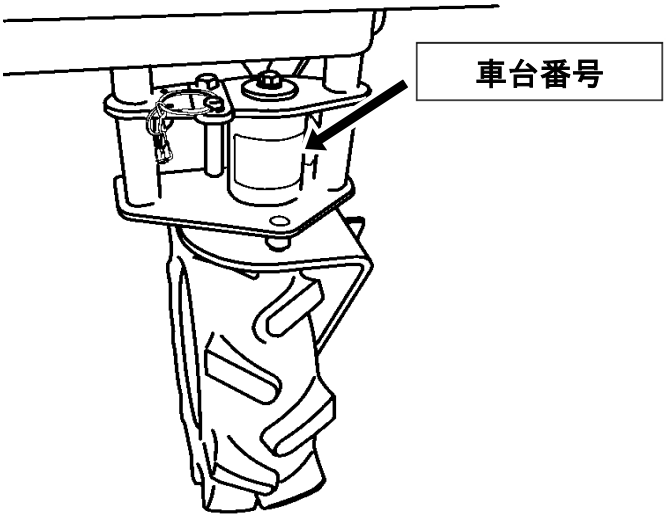
安全鑑定の農機型式名及び番号が必要な場合は、下記の型式名及び番号をご使用ください。

販売型式名	KYU-A-1
農機型式名	KYU-A-1
安全鑑定番号	申請中

■補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期限)は製造打ち切後9年といたします。
ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は原則的に上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についでご相談させていただきます。



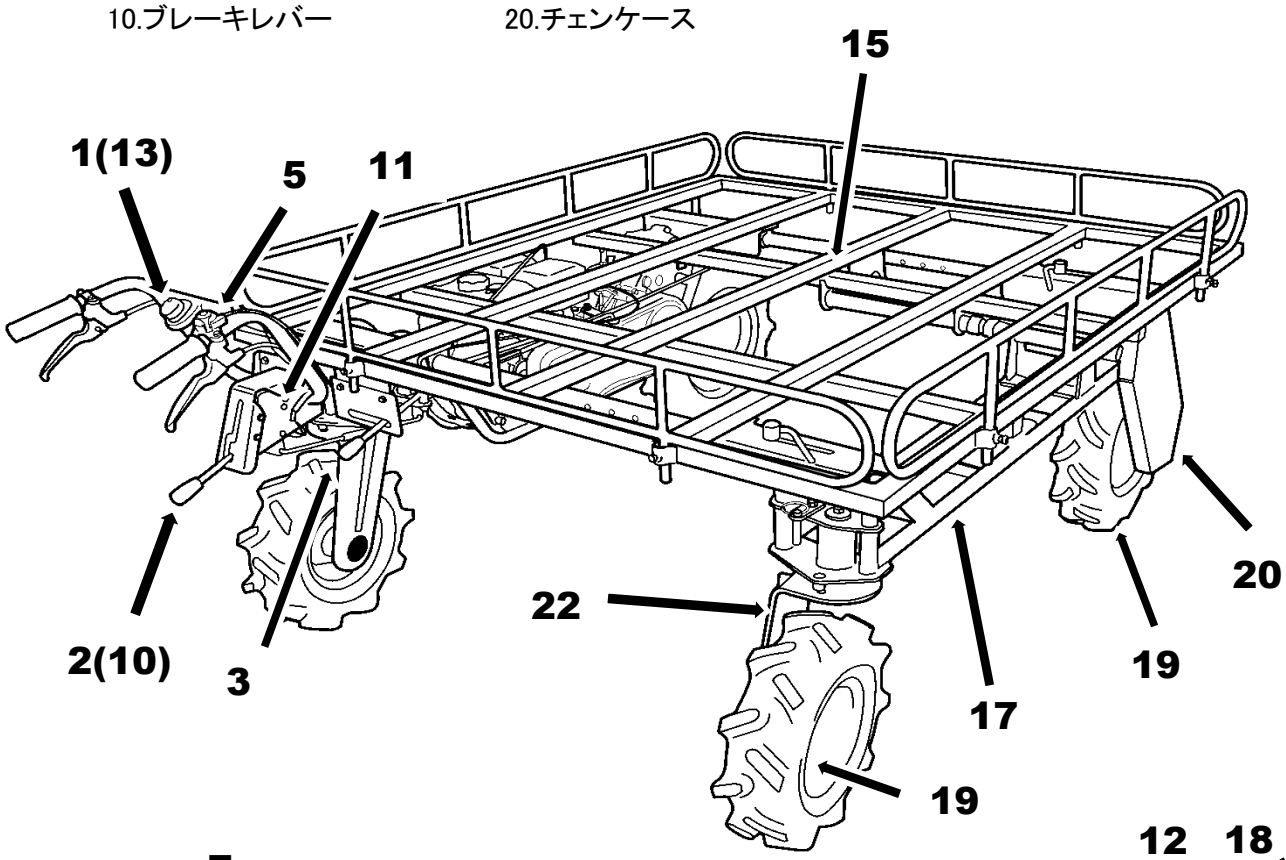


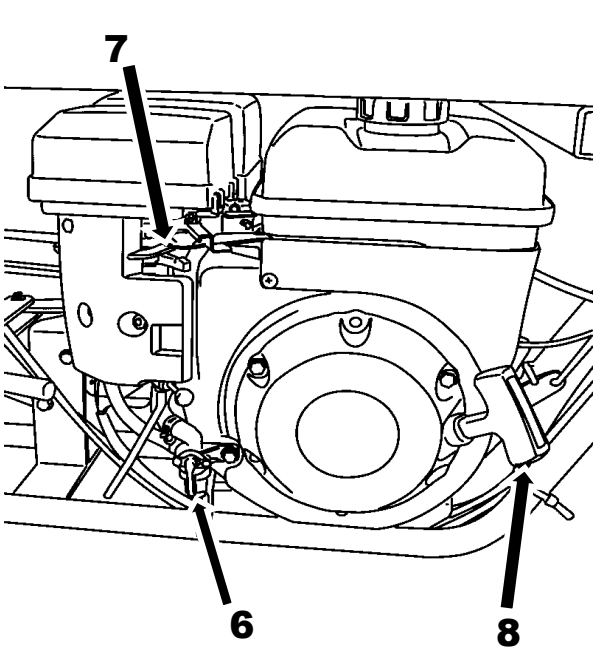
⚠警告

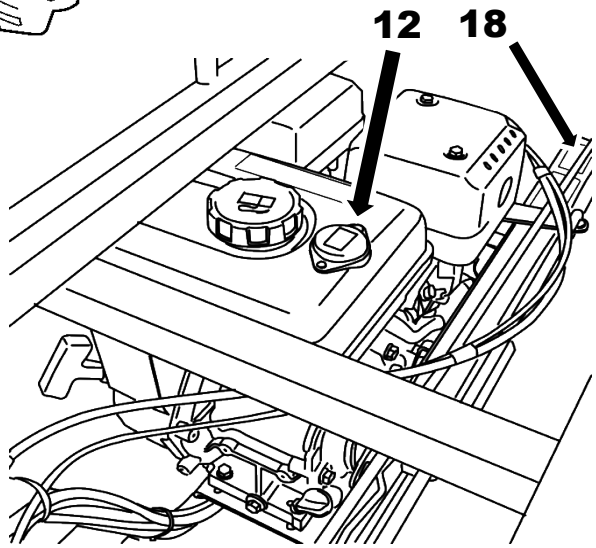
乗用走行はできません。
小型特殊自動車の認定を受けておりません。
一般公道を走行すると、道路運輸車両法に違反します。
一般公道を移動するときは、自動車(トラック)に積んで運搬してください。

各部の名称と装置の取扱い

1.エンジン停止スイッチ
2.主クラッチレバー
3.主変速レバー
4.副変速レバー
5.アクセルレバー
6.燃料コックレバー
7.チョークレバー
8.リコイルスタータ
9.サイドクラッチレバー
10.ブレーキレバー
11.始動安全装置
12.燃料ゲージ
13.緊急停止スイッチ
14.エンジン
15.荷台
16.フレーム左
17.フレーム右
18.ベルトカバー
19.車輪
20.チェンケース
21.ハンドル
22.キャスター

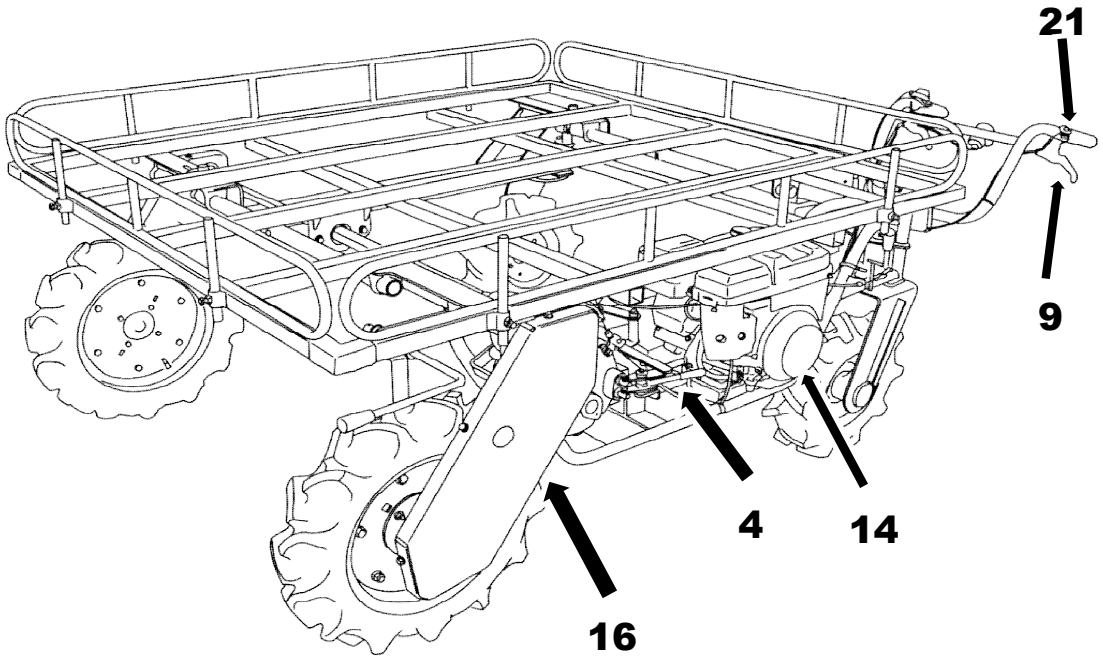






各部の名称と装置の取扱い

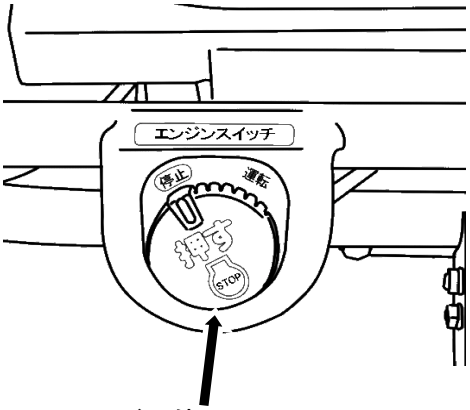
1.エンジン停止スイッチ
2.主クラッチレバー
3.主変速レバー
4.副変速レバー
5.アクセルレバー
6.燃料コックレバー
7.チョークレバー
8.リコイルスタータ
9.サイドクラッチレバー
10.ブレーキレバー
11.始動安全装置
12.燃料ゲージ
13.緊急停止スイッチ
14.エンジン
15.荷台
16.フレーム左
17.フレーム右
18.ベルトカバー
19.車輪
20.チェンケース
21.ハンドル
22.キャスター



各部の名称と装置の取扱い

1.エンジン停止スイッチ

●エンジンの停止と運転
停止・・・ボタンを押すと左に回ってロック。
運転・・・ボタンを押しこみながら右に回し
運転の位置にする。



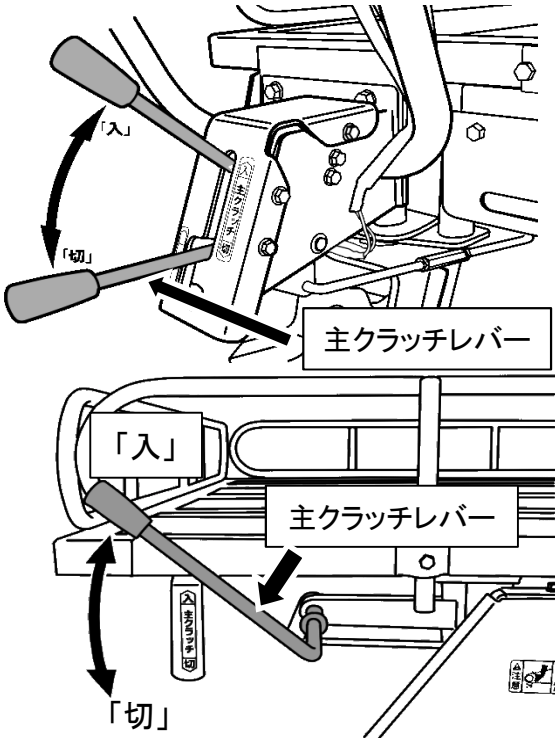
エンジン停止スイッチ

2.主クラッチレバー

注意

1.主クラッチの断続はゆっくりと、確実に（バックは特にゆっくりと）行ってください。
2.主クラッチレバーは機体の前後2箇所に設置されています。

●エンジン動力の断続
「入」・・・動力が伝わり機械が動きます。
「切」・・・動力が遮断され機械が停止します。

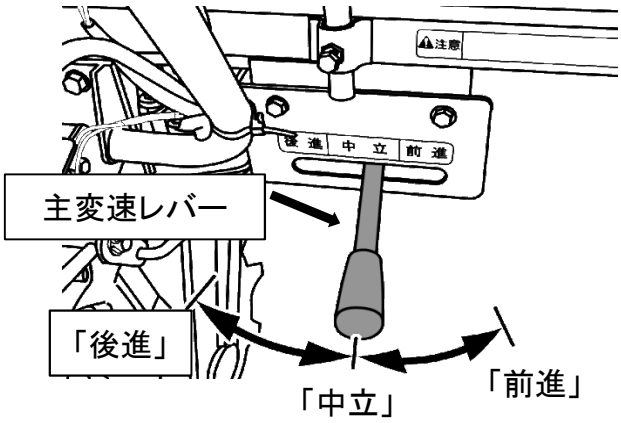


3.主変速レバー

注意

変速操作は主クラッチを「切って」から確実に行ってください。
思わぬ傷害や事故、機械の破損の危険があります。

●機械の進行方向を切り替える
前進・・・ハンドル側から見て前方向へ進む。
後進・・・ハンドル側から見て後方向へ進む。

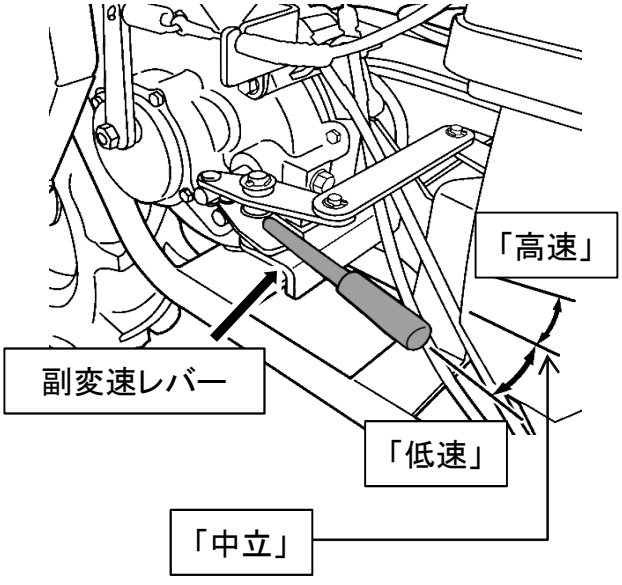


4.副変速レバー

注意

変速操作は主クラッチを「切って」から確実に行ってください。
思わぬ傷害や事故、機械の破損の危険があります。

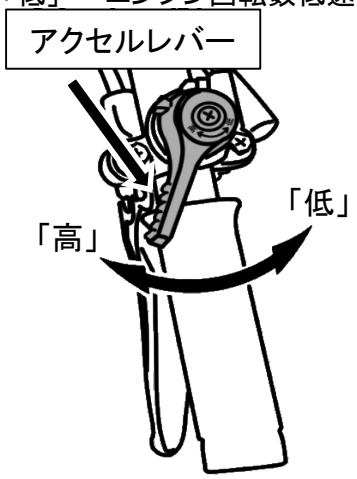
●走行速度を「低速」と「高速」に変速します



各部の名称と装置の取扱い

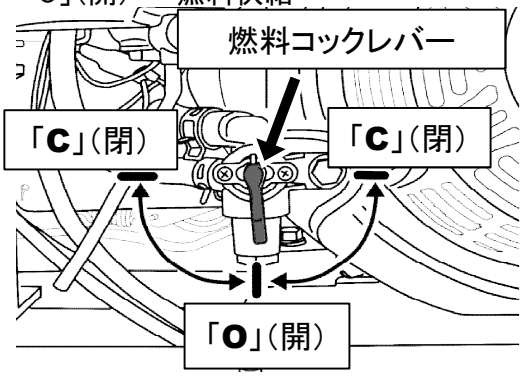
5.アクセルレバー

●エンジン回転数を調節します。
「高」・・・エンジン回転数高速。
「低」・・・エンジン回転数低速。



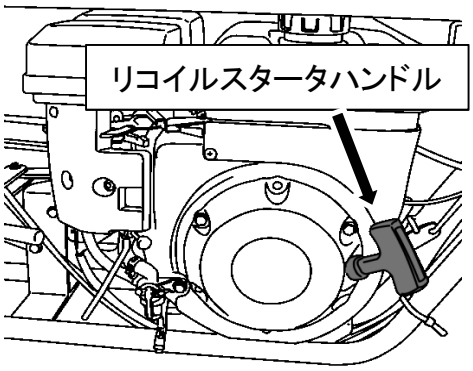
6.燃料コックレバー

●燃料タンクからの燃料の「供給」「停止」を行います。
「C」(閉)・・・燃料遮断
「O」(開)・・・燃料供給



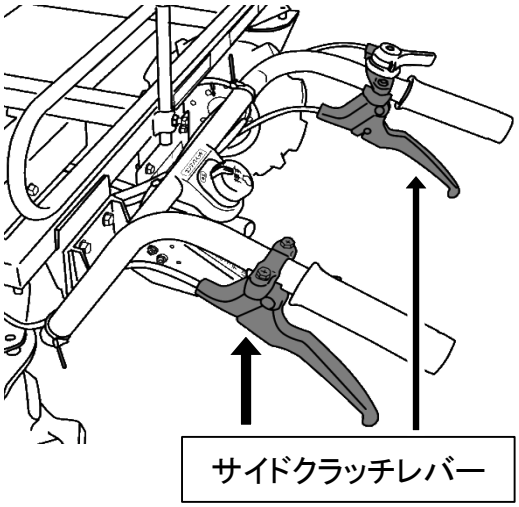
7.リコイルスタータ

●エンジンを始動します。



8.サイドクラッチレバー

●左右の車軸への動力伝達の断続をします。

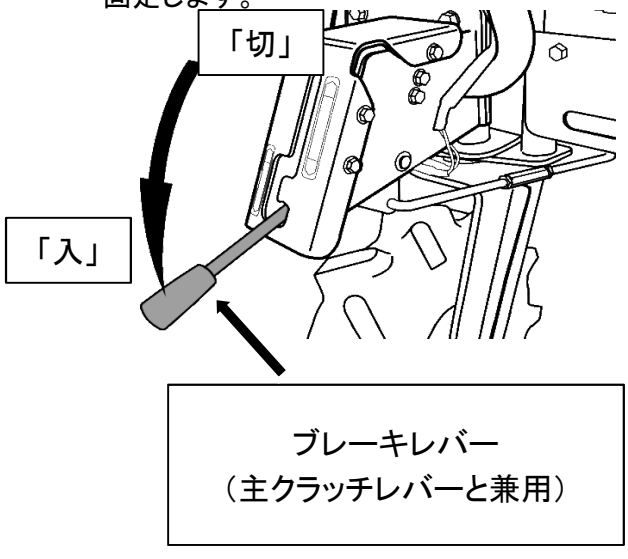


9.ブレーキレバー

⚠注意

このブレーキを駐車以外の目的で使用しないでください。
思わぬ傷害や事故の危険があります。

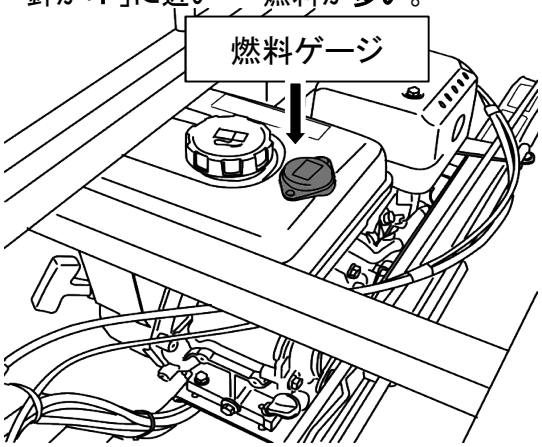
●駐車ブレーキの入り切りをします。
ブレーキレバーをガイド溝に沿って押し下げブレーキを作動させます。
レバーを溝のストッパーにかけてレバーを固定します。

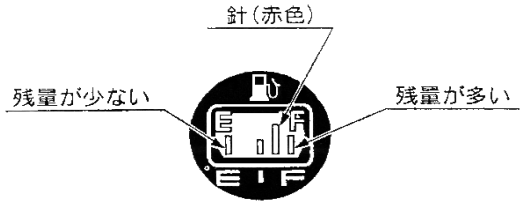


各部の名称と装置の取扱い

10.燃料ゲージ

●燃料タンク内の燃料の残量を確認します。
・針が「E」に近い・・・燃料が**少ない**。
・針が「F」に近い・・・燃料が**多い**。



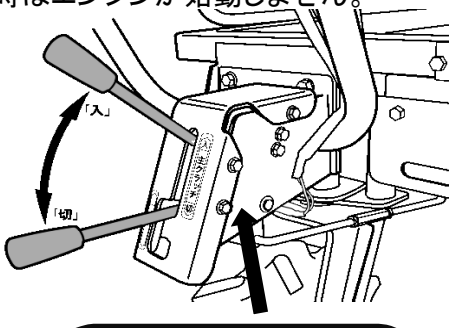


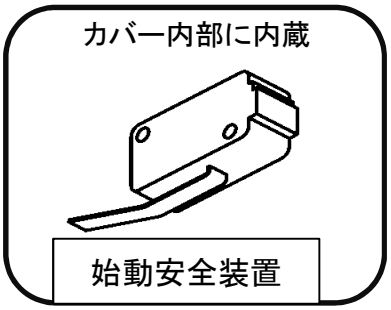
11.始動安全装置

危険

クラッチが「入」の時にエンジンがかかってしまった場合、使用を中止し購入した販売店へ修理を依頼してください。
故障したまま使用した場合、傷害事故の危険があります。

●始動時の急発進防止の為
エンジン始動時における、急発進事故を防ぐ為に、クラッチレバーが「入」に入っている時はエンジンが始動しません。

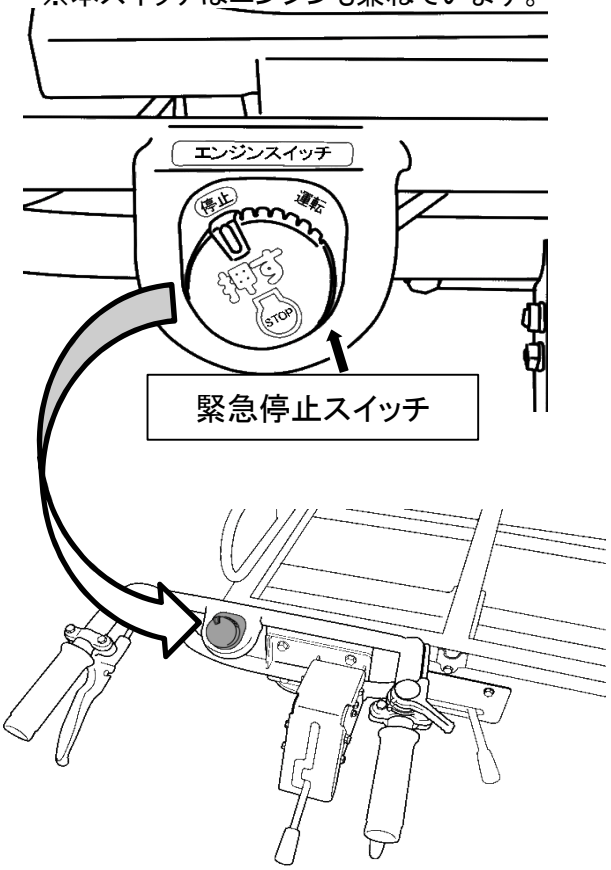




各部の名称と装置の取扱い

12.緊急停止スイッチ

●緊急時にエンジンを停止させる非常停止用スイッチです。
緊急の場合、すばやく叩きエンジンを停止させます。
※本スイッチはエンジンも兼ねています。



■操作方法

1.停止
・ボタンを押すと、ボタンが左に回って（反時計回り）「停止」も位置になり、エンジンの回が止まります。

2.運転
・ボタンを押しこみロックを外し、そのまま右（時計回り）に回します。
回しきった所で、ボタンを引き上げるようにして手を離すと「運転」の位置でロックされます。

ボタンを押しながら回し引っ張る

作業前の点検

⚠注意

・平坦な場所に機械を安定させて点検してください。
・点検中はエンジンを停止してください。

（1）ボルト・ナットの点検
エンジン・ハンドル・各結合部などのボルト・ナットの締付を点検します。

⚠警告

・給油するときはエンジンを停止し、エンジンやマフラがじゅうぶん冷えてから行ってください。
・火気厳禁。くわえタバコでの給油は絶対にしないでください。
・燃料がこぼれたときはきれいに拭き取ってください。
・燃料は規定量（赤ゲージ）以上入れないでください。
・給油後、燃料キャップはガソリンが漏れないようにしっかりと締めてください。
・上記の作業をおこたると、爆発・火災のおそれがあります。

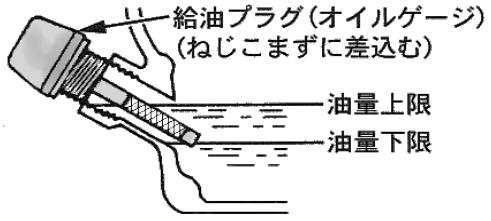
（2）給油・注油

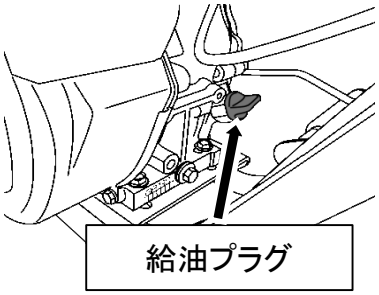
重 要
各給油箇所には工場から出荷の際オイルを入れておりません。
下記の給油・脂表にしたがって必ずご使用前に給油してください。
オイルの点検と交換表

給油箇所	種類	容量
エンジン（GB130LN）	エンジンオイル	0.5L
燃料タンク	自動車用無鉛レギュラーガソリン	2.5L
ミッションケース	ミッションオイル	1.5L
走行ケースのチェン	グリス	適量
ワイヤー類	エンジンオイル	適量
レバー類	エンジンオイル	適量

※エンジンオイル　・・・・・・・　10W-30
※ミッションオイル　・・・・・・・　＃80又は＃90

◆エンジンオイル
●エンジンを水平にして給油し、オイルゲージで規定量あるか確認します。
●不足している場合、エンジンオイル10W-30を補充します。（ガソリンエンジン用）
※オイルゲージはきれいな布でオイルをふき取ったあと、エンジンの給油口に差し込み使用してください。この時、下の図のように、ねじ込まないで使用します。
※出荷時にオイルは抜き取っておりますが、構造上抜ききれないオイルが残存しています。0.5L給油しようとするとあふれる場合がありますので、オイルゲージの規定範囲を目安に給油してください。



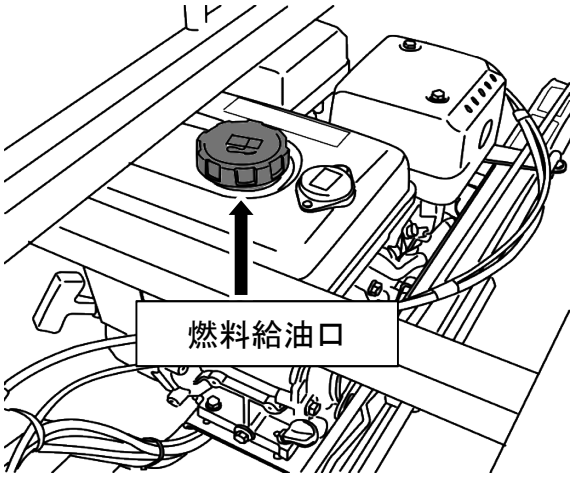


●確認が終わったら、オイルが漏れないようにオイルゲージを給油口にしっかりとねじ込みます。

作業前の点検

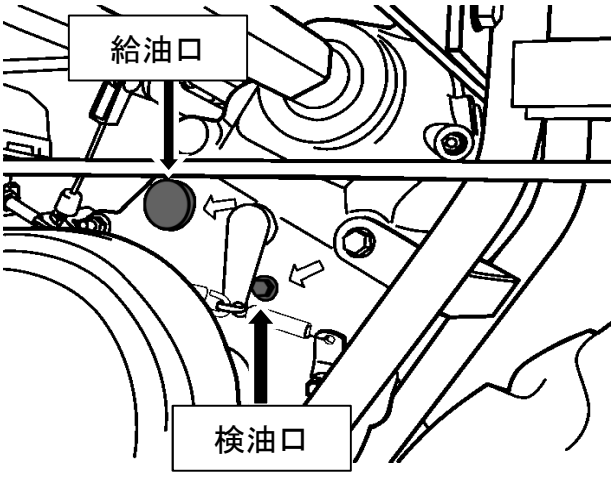
◆燃料タンク
●燃料タンクに燃料を入れます。

・種類：自動車用無鉛レギュラーガソリン
・給油量：1.5L（燃料給油口のこし網についている赤線まで）



重 要
古くなったガソリンや、専用の容器以外に入れたガソリンは使用しないでください。
故障の原因となります。

◆ミッションオイル
●ミッションケースにミッションオイルを給油します。
・種類：ミッションオイル＃80若しくは＃90。
・給油量：1.5L（検油口からオイルが溢れる程度）



◆ケーブル（メインクラッチ、ブレーキ、サイドクラッチ）
◆その他
●エンジン、ミッションなどから油漏れがないか点検します。
●各しゅう動部へエンジンオイルを注油します。
●各部の損傷及びボルト・ナットのゆるみがないか点検します。

重 要 水やゴミが混入しないようにしてください。

作業前の点検

安全に作業するために

◆主クラッチレバー	●クラッチの**「入」「切」**が確実に行えるか点検します。 ●不良の場合は調整・注油します。
◆主変速レバー	●変速が案内板の位置で確実に行えるか点検します。
◆副変速レバー	●変速が案内板の位置で確実に行えるか点検します。
◆ブレーキレバー	●ブレーキの「入」・「切」が確実に行えるか点検します。 ●不良の場合は調整・注油します。
◆電気配線	●被覆が溶けたり破れたりしていないか、また配線が挟まれていないか点検します。
◆エンジン周辺部	●ファンカバーやマフラーカバー内にゴミやワラクズの付着がないか点検します。
◆ガソリンもれ	●タンクや燃料パイプからガソリンもれがないか点検します。 もれがある場合は、修理点検します。
◆エンジンスイッチ	●エンジンの始動、停止を確実に行えるか確認します。エンジンが停止しない場合、無理に停止しようとせず、ご購入になった販売店までご連絡ください。

重 要 故障や不具合がある場合、使用を中止し、ご購入になった販売店へ修理を依頼してください。

運転のしかた

新車時の扱いかた

■ならし運転（最初の10時間まで）

この期間中は各部になじみをつけるため、エンジンを高速回転させたり、過酷な使用はさけ無理をさせないようにしてください。

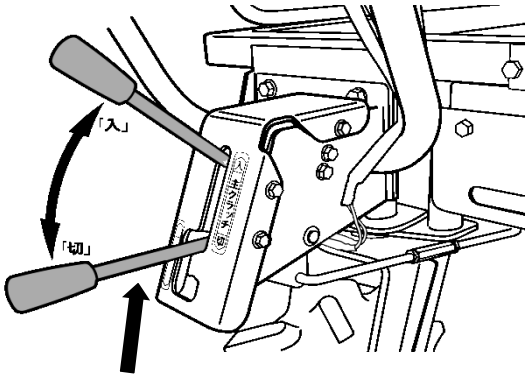
エンジンの始動と停止のしかた

■始動のしかた

⚠注意

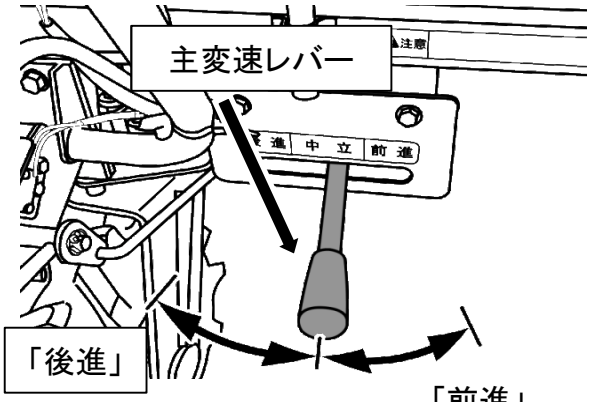
マフラの排気出口方向に、燃えやすい物がないか確認してください。火災の恐れがあります。
リコイルスタータを引っ張る方向に人がいないか、障害物・突起物がないか確かめてから始動してください。傷害事故の可能性があります。
エンジンの運転中は危険ですからマフラーやそのほか操作レバー以外のものには触れないでください。火傷や傷害の恐れがあります。。
夜間作業しないでください。
エンジンを始動するときは、主クラッチレバーを必ず「切」にしてください。

1. 主クラッチレバーを**「切」**にします。
※主クラッチレバーが**「入」**に入っていると
エンジンが始動しません。



主クラッチレバー

2. 主変速レバーを**「中立」**にします。



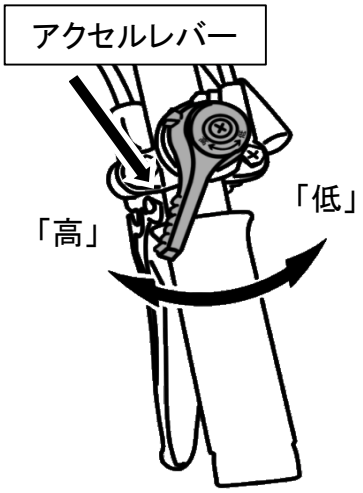
3. エンジン停止スイッチを「運転」の位置にしてください。

ボタンを押しながら回し引っ張る

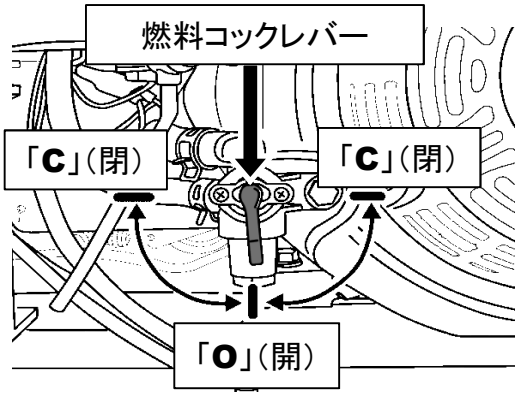
押す

運転のしかた

4.アクセルレバーを「高」の位置にしてください。

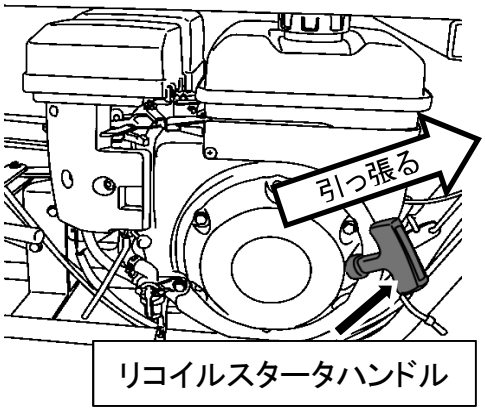


5.燃料コックレバーを「O」(開)の位置にしてください。

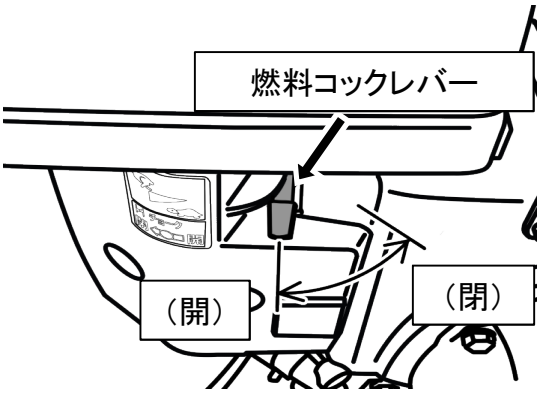


6.チョークレバーを「閉」にします。

7.リコイルスタータハンドルを勢い良く引いてください。スタータハンドルは静かに元に戻してください。



8.エンジンの回転の調子を見ながらチョークレバーを徐々に「開」にしてください。



重　要

運転中はリコイルスタータを引かないでください。

運転のしかた

■停止のしかた

⚠警告

停止直後はしばらくマフラが熱くなっていますので、手を触れないでください。
ヤケドのおそれがあります。

1.アクセルレバーを「低速」にします。
2.主クラッチレバーを「切」にします。
3.主変速レバーを「中立」にします。
4.エンジン停止スイッチを押してエンジンを切ります。
5.燃料コックレバーを「C」(閉)にします。

重 要

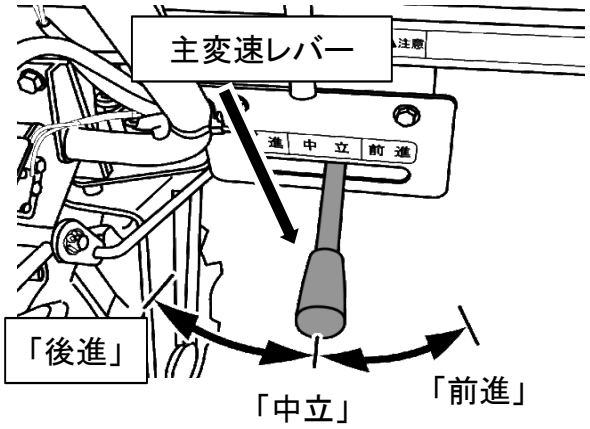
コックを開いたままの状態で保管したり、車両で運搬したりすると、エンジン始動が困難となる場合があります。
また、クランクケース内へガソリンが逆流することもあります。

■発進のしかた

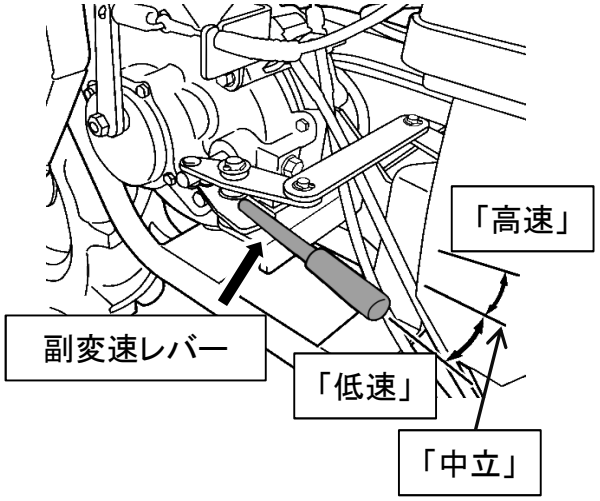
⚠警告

運転中は周囲に人を近付けないでください。傷害事故のおそれがあります。
荷台に乗せた荷物は充分な強度のロープでしっかりと固定してください。荷崩れの恐れがあります。
狭い場所での運転や後進の運転については、エンジンの回転を低速にし、後方や上方などまわりの安全を確かめゆっくりと主クラッチ操作をしてください。
傾斜地ではサイドクラッチ操作を行わないでください。機械の制動を失い傷害事故の恐れがあります。

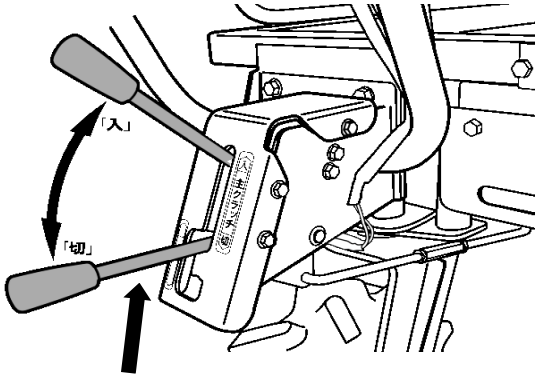
1.主変速レバーを希望の進行方向の位置にします。(前進　後進)



2.副変速レバーを「低速」もしくは「高速」の位置にします。



3.主クラッチレバーを徐々に「入」の位置にすると発進します。



主クラッチレバー

重 要

本機に乗らないでください。傷害事故の危険があります。
運転の際は周囲に人を近付けないでください。特に子供には注意してください。

運転のしかた

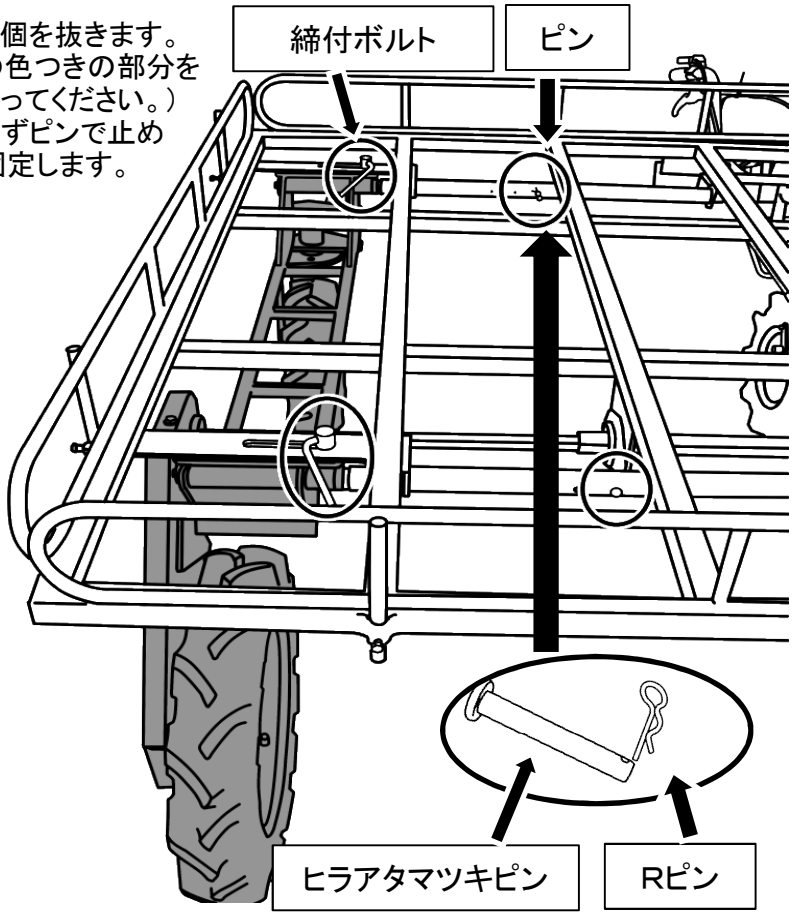
■車幅を変更する

⚠警告

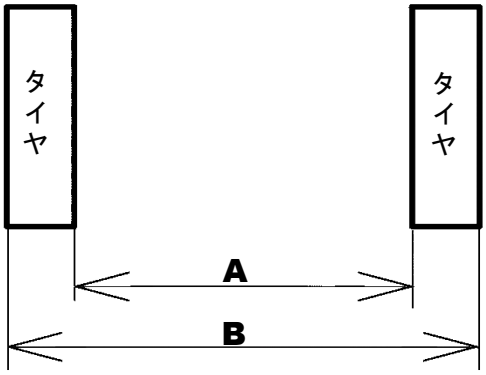
・車幅の調節後は締付ボルトとピンを確実に取り付けてください。
・車幅を調節するときは、安定した地面で行ってください。
・調節の時は、手などを挟まぬよう注意してください。

◆本製品は1150mm、1200mm、1250mmの3段に変更できます。
注1:上記寸法はタイヤの中心から中心までの距離です。
注2:荷台の幅は変更できません。

1.締付ボルト2ヶ所を緩めピン2個を抜きます。
2.荷台を少し持ち上げ、右図の色つきの部分を移動させます。(二人以上で行ってください。)
3.目的の幅に移動させたら、まずピンで止めます。次に締付ボルトを締め固定します。



位置	A	B
最短	1036mm	1264mm
中間	1086mm	1314mm
最長	1136mm	1364mm



簡単な手入れと処置

廃棄物の処理について

⚠警告

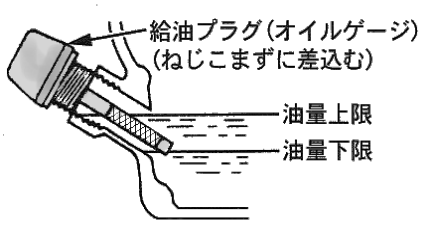
廃棄物をみだりに捨てたり、焼却すると環境汚染につながり、法令により処罰されることがあります。
機械から廃油を抜く場合、容器に受けてください。
地面への垂れ流しや、河川、湖沼、海岸への投棄はしないでください。
廃油、ゴム類、その他の有害物質を廃棄、又は焼却するときには、購入先、または産業廃棄物処理業者等に相談して、所定の規則に従って処理してください。

日常の手入れ

⚠注意

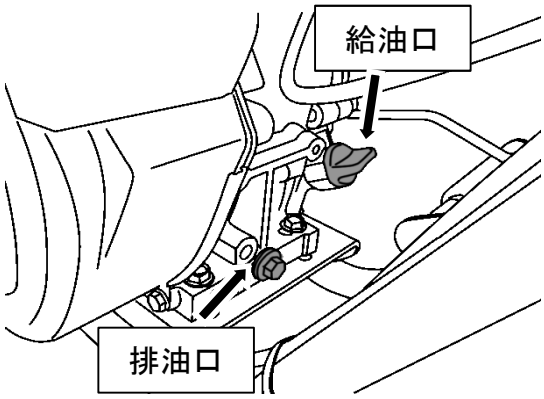
給排油・点検・調整・清掃は、エンジンを停止し、エンジンやマフラが充分に冷えてから行ってください。
作業の際は平坦な場所に機械を安定させて行ってください。

■エンジンオイルの交換
◆給油のしかた
エンジンを水平にしてオイルゲージを用いて、規定量まで入れます。



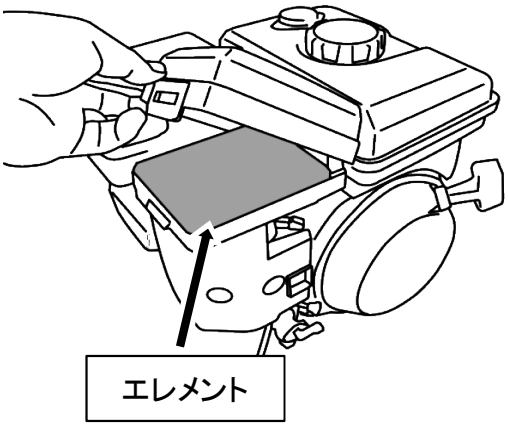
◆排油のしかた
機体を水平に安定させプラグを外し、廃油してください。この時、必ずオイルパン等で受けてください。

重要
粗悪なオイルを使用しますと、エンジン等の寿命を急激に縮めますので、ご購入先でエンジンオイル10W-30とご指定の上お求めください。(P8**オイルの点検と交換表**参照)
排油・検油・給油後はプラグを確実に閉めてください。



■エアークリーナーエレメントの清掃
エレメントの汚れがひどいとき、及びオイル分が乾いているときは、白灯油で洗浄後エンジンオイルを浸し、片手で軽く絞ってからエアクリーナーにセットしてください。

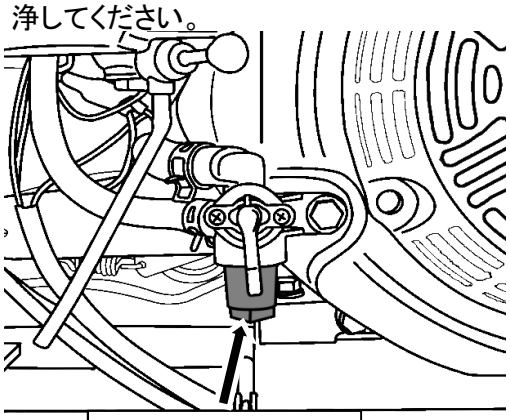
重要
汚れたまま使用しますと、エンジンの出力低下や故障の原因になります。



◆50時間使用毎に点検100時間使用毎に清掃を行ってください。

簡単な手入れと処置

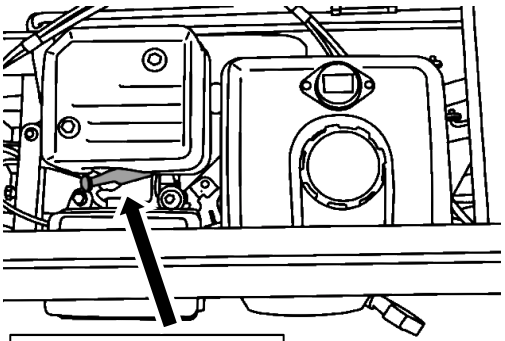
■フィルターポッドの清掃
ポッド内に水やゴミがたまっているときは燃料コックレバーを「C」(閉)にして、フィルターポッドを取外し、ガソリンできれいに洗浄してください。



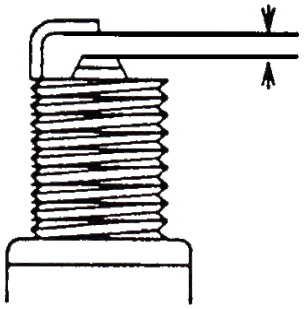
フィルターポッド

■点火プラグの清掃・調節
1.プラグキャップを外しプラグ用ボックススパナでプラグを取り外します。
2.ススなどの汚れをきれいに取り除きます。
3.電極のすき間が0.9～1.0mmになるように調節してください。
4.元のように組付け動作を確認してください。

・点検調節は6カ月に1度行ってください。



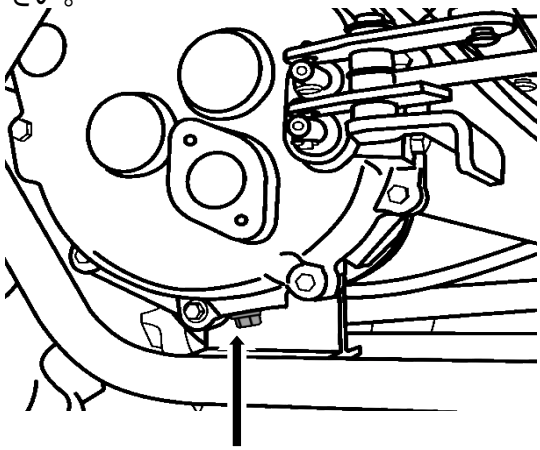
プラグキャップ



使用点火プラグ
NGK　BP2HS

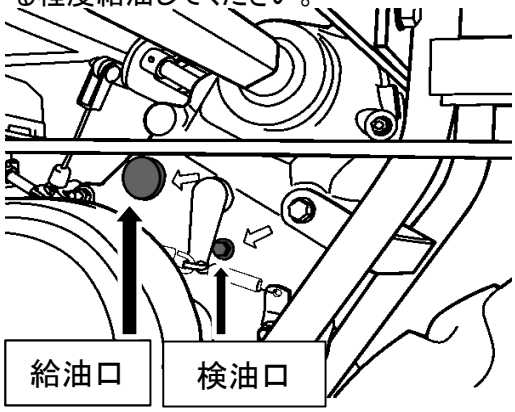
重要
締付時はネジ山をつぶさないように、はじめ手で捻じ込んでから、ボックススパナで締付けてください。

■ミッションオイルの交換
1.排油
ミッションケースの温かいうちにミッションケース下部の排油プラグを外し排油してください。



排油プラグ

2.給油
給油口から給油します。検油口からあふれる程度給油してください。

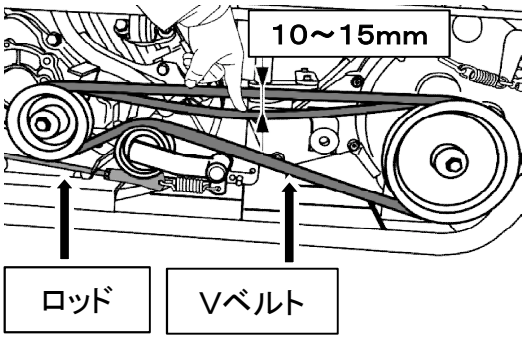


給油口　検油口

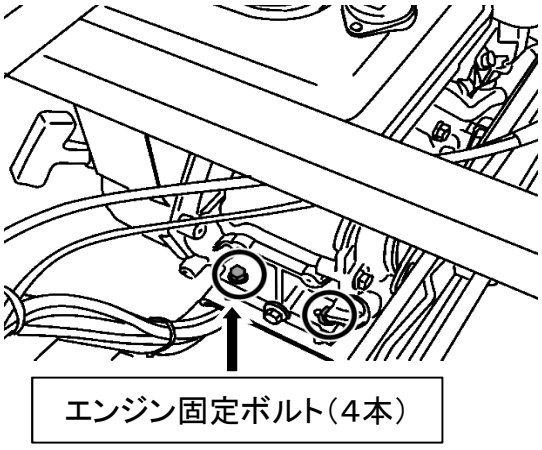
重要
抜き取った廃油は、空地や河川などに捨てたり、燃やしたりしないでください。
専門の処理業者やお買い求めになった販売店に処理の方法を相談し処分してください。

簡単な手入れと処置

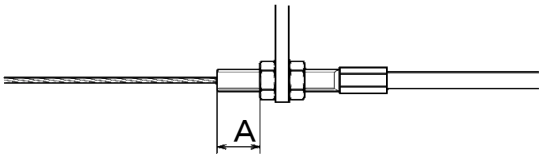
■Vベルトの張りの調節
1.クラッチロッドによる調節
主クラッチレバーを「入」にした状態でベルトの中央部を押さえて10～15mmたわむ程度にロッドの長さを調節してください。
使用初期は、ベルトが伸びやすいので10時間使用後に再調整してください。

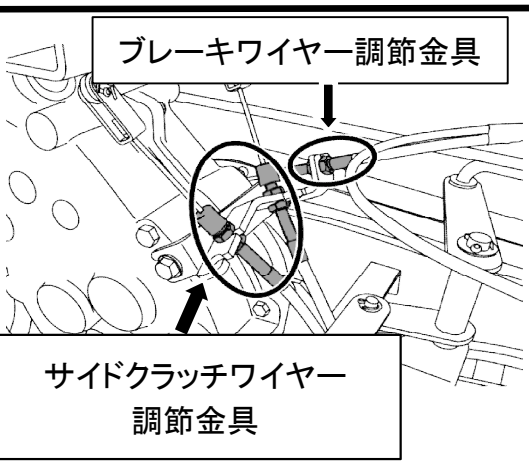


2.エンジン前後による調節
クラッチロッドの調節だけでは対応できない場合は、エンジン固定ボルト4本を緩め、エンジンを前後に移動させて調節してください。
調節後はエンジン固定ボルトを確実に締め付けてください。



■サイドクラッチの調節
サイドクラッチの調子が悪い時は、ワイヤーの調節金具を調節してください。
・サイドクラッチが切れない場合はAを短くする。
・サイドクラッチが切れたままのときはAを長くする。

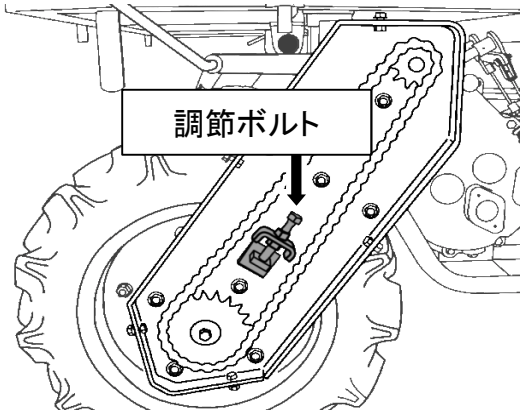




■駐車ブレーキの調節
駐車ブレーキの調子が悪い場合、サイドクラッチワイヤーと同様に調節してください。

■走行チェンの張りの調節
走行ケース内のチェンが伸びると。ケース内部に接触したりチェン跳びが起こって機械の破損につながります。
定期的に点検し調節してください。

・調節の仕方
調節ボルトをねじ込みチェンを張ります。
左右同じように調節したら、ナットでしっかりと固定し緩まないようにしてください。



重要
調節しても改善されない、動作に不安がある場合はすぐにご購入いただいた販売店にご連絡ください。

簡単な手入れと処置

使用後の手入れ

使用後は、必ずその日のうちに清掃を行い各部に付いている土やゴミを落とし、各しゅう動部が錆びないよう油やグリスを及び防錆剤を塗布してください。
特にファンカバー内にゴミがつまりやすいので、エンジンの焼きつきなどの防止のためよく点検・清掃を行ってください。

重 要
水洗いの時、エアクリーナ吸込口から水が入らないように気を付けてください。

■エンジン始動不良を防ぐために
エンジン停止後、必ず燃料コックを閉めてください。

■長期格納時の手入れ

⚠注意
火災予防のため、カバーをかけたり納屋に保管する際はエンジンが充分に冷えた事を確認してから行ってください。
燃料がこぼれたときは、きれいに拭き取ってください。爆発・火災のおそれがあります。

1. 主クラッチレバーは「切」の状態にして保管します。
2. 燃料タンク・キャブレター・フィルタボッド内のガソリンは全て抜き取ります。（1ヶ月以上使用しない時）
3. オイルを交換し、各部をきれいに清掃します。
4. エアクリーナエレメントを清掃しておきます。
5. エンジンのシリンダ内に湿気が入って、始動が困難になるのを防止するためにリコイルスタータハンドルを引っ張って、圧縮位置で止めておきます。
6. カバーを掛け、湿気やホコリのない場所に置きます。

付表

主要諸元

品番			271800000000000
販売型式			KYU-A-1
機体	全長(mm)		2070
	全幅(mm)		1530
	車輪幅(mm)(タイヤの中心)		1150、1200、1250(3段)
	全高(mm)		710
	装備重量(kg)		200
エンジン	型式名		GB131LN
	総排気量(cc)		126
	出力/回転数(kw(PS)/rpm)		2.3(3.1)/1800
	最大出力(kw(PS))		3.0(4.2)
	エアクリーナ方式		半湿式
	始動方法		リコイルスタータ
	点火方法		無接点式マグネト点火
	燃料タンク容量(L)		自動車用無鉛レギュラーガソリン 2.5L
	潤滑油容量(L)		0.5L
トランスミッション	主変速		前進1段、後進1段
	副変速		高速、低速2段
速度	前進(km/h)	低速	1.7
		高速	3.9
	後進(km/h)	低速	1.7
		高速	3.9
車輪	前車輪		400-12(外径544mm、幅114mm)
	後車輪		400-7(外径400mm、幅111mm)
駐車ブレーキ			内部拡張式
主クラッチ			ベルトテンション方式(Vベルト SB44×1)
最大積載量(kg)			250

付表

標準付属部品

品名	数量/台	備考
プラグボックス	1	
プラスドライバー	1	
取扱説明書	1	
保証書	1	

主な消耗部品一覧

品名	品番	数量	備考
Vベルト SB-44	0751110044	1	
スロットルケーブル	271800000102000	1	アクセル用
ケーブル(ブレーキ)	271800000341000	1	ブレーキ用
ケーブル(サイドクラッチ)	271800000513000	2	サイドクラッチ用
ワイヤーハーネス	271800000511000	1	電装用

トラブルと処置

■エンジンが始動しない

原　因	処　置
● 始動手順が間違っている。	正しい順序で始動する（11ページの「運転のしかた」参照）
● タンクにガソリンを入れたまま1ヶ月以上保管しガソリンが腐った。	タンク・キャブレター内の腐ったガソリンを排出し、新しいガソリンを入れる。
● フィルタポットに水やゴミが混入している。	ポットを外してフィルタエレメントを掃除する。 また新しいものと交換する。 キャブレター内のガソリンも排出する。
● チョークを引いた（閉じた）状態でリコイルを何回も引過ぎガソリンを吸いすぎた。	チョークを戻し（開き）リコイルを引くか、点火プラグを外して乾燥させる。
● エンジン停止後、燃料コックを閉じないで本機を前に倒したり、車両で運搬したためキャプレターがオーバーフローした。	クランクケース内にガソリンが混入していたら新しいエンジンオイルと交換する。
● エアクリーナエレメントが目詰まりしている。	エレメントを外して清掃する。 または新しい物と交換する。
● 点火プラグの火花が弱い。	点火プラグを外して付着したカーボンを清掃する。 または新しい物と交換する。

■エンジン回転数が上がらない、不安定、出力が低下するとき

原　因	処　置
● エンジンが暖まってもチョークを引いた（閉じた）まま運転している。	チョークを戻す（開く）。
● フィルタポットに水やゴミが混入している。	ポットを外して清掃する。 キャブレター内のガソリンも排出する。
● エアクリーナエレメントが汚れている。	エレメントを外して清掃する。
● アクセルワイヤーの引っ張りが不足している。	ワイヤーのセット位置を調節する。

■エンジンが振れる、異音が発生する

原　因	処　置
● エンジン取付けボルトがゆるんでいる。	取付けボルトを締付ける。

上記の処置をしてもトラブルが直らないときは、購入先にご相談ください。

補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後９年といたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等でご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は、原則的に上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

純正部品を使いましょう

補修用部品は安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。
市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

純正アタッチメントを使いましょう

純正アタッチメントは一番よくマッチするよう研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷されていますので、安心してお使いいただけます。
市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因となります。

品番　2718000000751001

・製品のご相談は下記の販売店へ

関東農機株式会社

本社工場/本社営業所　〒323-0819　栃木県小山市横倉新田　493
TEL　0285(27)3271(代)　FAX　0285(27)4627

鏡石工場/福島営業所　〒969-0403　福島県岩瀬郡鏡石町久来石字大町　57
TEL　0248(62)4131(代)　FAX　0248(62)4133

盛岡工場/東北営業所　〒028-4132　岩手県盛岡市玉山区渋民字岩鼻　20-55
TEL　019(683)1911(代)　FAX　019(683)1119

九州営業所　〒866-0813　熊本県八代市上片町　1351
TEL　0965(31)0730(代)　FAX　0965(31)0760